

(5)異臭の原因説明

技術的課題の内容	自社製品からカビ臭がするというクレームがあった。カビ臭の原因となる成分を特定して欲しい。	
アプローチ	職員で正常品と異常品を嗅ぎ、カビ様臭の有無を確認後、におい嗅ぎつきガスクロマトグラフ(GC-O)で、一般的なカビ様臭の成分があるか、人を検出器として測定する。	
使用機器	ガスクロマトグラフ(におい嗅ぎ装置付き)	
結果の要約	The figure is a gas chromatogram (GC) plot. The x-axis represents time in minutes, ranging from 2.00 to 64.00. The y-axis represents detector response, ranging from 0.0 to 2.0. Several peaks are visible, with the most prominent ones around 34.5 minutes. A blue arrow points to this peak, with the text 'カビ様臭を検知した時間' (Time when mold-like odor was detected) above it. The photograph shows the GC-O equipment, which includes a gas chromatograph unit and an olfactometer (sniffing port) used for human detection of odors. 図 GCのクロマトグラム 図表は、イメージ画像です GC-Oによるにおい嗅ぎ分析で、カビ様臭を感じた。匂いを感じた時間から、2-メチルイソボルネオールと推定した。	
技術支援料	27,000円	想定事例で積算している技術支援料は、一般的な場合を想定したものです。ご依頼の内容によって変わります。
補足	カビ様臭の成分はにおい閾値が低いため、低濃度でも異臭の原因になることがあります。GC分析でピークが見えないこともあります。	